

2022年7月12日

## 2021年度事業・活動報告／2022年度事業・活動計画

熱帯林行動ネットワーク (JATAN)

### 活動報告 (2021年度)

1. APP/APRIL キャンペーン (インドネシア産紙製品キャンペーン)
  - APP社に関するアップデート情報は収集したが、ウェブサイトの更新はしていない。
  - ステークホルダー・エンゲージメントプログラムを通じて、五輪スポンサー企業に対してAPP社の抱える問題について情報提供を行った。
  - 現地カウンターパートの協力を得て、RGEグループ (APRIL) 関連企業による森林破壊や社会紛争の事例を取りまとめた。(現在継続中)
  
2. マレーシア・サラワクとオーストラリア・タスマニア (輸入合板キャンペーン)
  - 企業向けのアンケート調査は実施しなかったが、サラワク材を取り扱う関連企業の調達状況について情報収集を行った。
  - サラワク州での人権侵害の状況に関するレポート「NEPConによるマレーシア・サラワク州の木材合法性に関するリスク評価」の日本語版を作成した。  
<http://www.jatan.org/archives/5359>
  - 現地NGOおよび人権弁護士の協力を得て、ウェビナー「熱帯材製品利用と人権侵害：マレーシア・サラワクの土地収奪」を開催した。  
<http://www.jatan.org/archives/5301>
  - 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に対して、タ・アン社による豪州タスマニアでの森林破壊について通報を提出した。  
<http://www.jatan.org/archives/5430>
  
3. パーム油利用企業への働きかけ (パッカード財団)
  - 複数のパーム油利用企業に、オンラインでの会合を通じてNDPE方針の採用および実施に向けた働きかけを行った。
  - 現地での問題事例 (マレーシアおよびインドネシア) や認証制度 (ISPO) に関するアップデート情報を取りまとめた。
  - パーム油利用企業の取り組み状況に関するアンケート調査 (2021年度版) を実施し、集計結果と各社のスコアリング評価をとりまとめウェブサイトに掲載した。
  - 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に対して、明治による公式ライセンス商品のパーム油調達コード違反について通報を提出した。  
<http://www.jatan.org/archives/5343>

#### 4. バイオマス発電事業への働きかけ

- 関連団体と連携しつつ、引き続きパーム油のバイオマス発電事業に対する働きかけを実施する。(経産省への働きかけ、事業者へのキャンペーン)
- 関連団体と連携しつつ、パーム油を利用したバイオマス発電事業への働きかけを行った。(経産省への働きかけ、事業者へのキャンペーン)
- 「森林認証基準と FIT バイオマス発電の持続可能評価基準の比較表」を作成した。

#### 5. オランウータン保護団体 COP との共同プロジェクト (緑の地球防衛基金)

- 昨年度に引き続き、継続事業としてインドネシア東カリマンタン州のオランウータン保護施設周辺での住民共同型の植樹活動およびモニタリングを現地カウンターパートである COP 主導のもとで実施した。
- オランウータンの保護施設のあるラバナン演習林に加え、新たにブラウ県北部に新設された診療所周辺での植樹を実施した。

#### 6. インドネシア、南スマトラ州 MHP (丸紅) に対するキャンペーン

- オンラインを通じて、現地 NGO からアップデート情報を収集した。
- 協力団体・協力者と連携し、丸紅株式会社に対してインドネシア南スマトラ州でのチャワン・グミリール集落の強制排除に関する公開質問状を提出、その回答とこれまでの経緯をとりまとめウェブサイトに掲載した。  
<http://www.jatan.org/archives/5748>、<http://www.jatan.org/archives/5261>
- 投資家に対して直接的な情報提供はしていないが、ウェブサイト上に日本語・英語での情報発信をした。

#### 7. <NEW>カカオの森林問題に関するキャンペーン

- 米国マイティ・アースと協力し、西アフリカ (ガーナおよびコートジボワール) でのカカオ生産にともなう森林破壊の現状について日本のメディアに情報提供を行った。  
<https://www.mightyearth.org/cfi-valentines-report-2022>
- 米国マイティ・アースと協力し、THE CHOCOLATE PROJECT 主導のもと作成されたレポート「世界チョコレート成績表 2020」に関して、日本でプレスリリースの発表およびウェビナーを実施した。
- ウェブサイト上に、カカオについての基本情報をとりまとめ掲載した。  
<http://www.jatan.org/archives/5573>、<http://www.jatan.org/archives/5728>
- 国内外での取り組みの現状に関する情報収集のため、定期的に JICA が主催する「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」に参加した。

8. <NEW>インドネシア西スマトラ州 JICA 高速道路建設事業への働きかけ
  - FoE ジャパンと連携して現地 NGO である WALHI 西スマトラや道路建設事業に影響を受ける地域住民と定期的にオンラインを通じて情報共有を行った。また、事実関係を確認し、住民たちの声を届けるため JICA との会合を実施した。
  - WALHI が現地でドキュメンテーションや住民たち向けの法律に関するトレーニングを実施するための活動費を日本国内で募った。
  
9. 会員拡大キャンペーン／ウェブ充実化の取り組み
  - JATAN 設立 30 周年記念の NGO 連続講座として、2020 年 11 月に国際環境 NGO FoE Japan の三柴氏を招き「わたしたちと熱帯木材～サラワクの木材はどう消費されているのか」(第五回)、2021 年 3 月に信州大学の金沢氏を招き「ポリティカル・エコロジーで考えるサラワクの熱帯林問題」(第六回) と題するウェビナーを実施した。

#### 活動計画 (2022 年度)

10. APP/APRIL キャンペーン (インドネシア産紙製品キャンペーン)
  - APP/APRIL の問題に関するアップデート情報を収集し、日本語でとりまとめたものを引き続き発信していく。
  
11. マレーシア・サラワクとオーストラリア・タスマニア (輸入合板キャンペーン)
  - マレーシア・サラワクで先住民族の権利擁護に取り組む NGO スタッフの協力を得て、現地の最新情報をアップデートする。
  - フローリング材利用企業のサラワク材の調達状況に関するアンケート調査を実施し、レポートにとりまとめる。(今後、インドネシアも対象に加える予定)
  
12. パーム油利用企業への働きかけ (パッカード財団)
  - 現地での問題事例や認証制度に関するアップデート情報をとりまとめ、既存のウェブサイトに掲載する。
  - 引き続き、パーム油利用企業の取り組み状況に関するアンケート調査 (2022 年度版) を実施し、集計結果と各社のスコアリング評価をウェブサイト上で公表する。
  - 関連団体と連携しつつ、引き続きパーム油利用企業による NDPE 方針の採用および実施に向けた働きかけを実施する。また、企業に対して影響力を持つ金融機関やメディア等への腹たきかけも同時に実施する。
  
13. バイオマス発電事業への働きかけ
  - 関連団体と連携しつつ、引き続きパーム油のバイオマス発電事業に対する働きかけを

実施する。(経産省への働きかけ、事業者へのキャンペーン)

14. オランウータン保護団体 COP との共同プロジェクト (緑の地球防衛基金)

- 東カリマンタン州オランウータン保護施設の周辺地域における住民共同型の植林活動に対して資金提供を行う。(緑の地球防衛基金)
- コロナ禍により渡航が制限されているため、当面の間エコツアーの実施は延期とする。

15. インドネシア、南スマトラ州 MHP (丸紅) に対するキャンペーン

- オンラインを通じて、引き続き現地 NGO からアップデート情報を収集する。
- チャワン・グミール集落での強制排除の対応に加え、新たな紛争事例に関する情報などを利用し、国内外の投資家を通じた働きかけを行う。

16. <NEW>カカオキャンペーン

- 米国マイティ・アースと協力し、情報収集のためにガーナでの現地調査を実施する。また、カカオに関連する日本の企業や政府組織に対して、NDPE 方針の採用と実施およびトレーサビリティ管理を求める働きかけを行う。
- 西アフリカ(ガーナおよびコートジボワール)でのカカオ生産にともなう森林破壊の現状について、消費者やメディアに対して情報提供を行う。
- 「世界チョコレート成績表」の作成にあたり、日本でのアンケート調査の実施や企業とのコミュニケーションを請け負う。

17. 会員拡大キャンペーン／ウェブ充実化の取り組み

- ウェブサイトにおいて JATAN の活動に関する情報発信をこれまで以上に強化する。